

内科検診が終わりました！

今年度保健行事の最後を締めくくる内科検診が11月12日に終わりました。6月の検診の時には不安で泣き出してしまいうちも何名か見られましたが、今回は泣く子は一人もいませんでした。みんな笑顔で上原先生とハイタッチをして検診を終了できました。検診結果はもちろん全員異常なしでした！



* お薬を持参する子が増えてきました。持参した際は玄関の薬を入れるボックスにお薬を入れて下さい。かばんに入れたままですと内服できないことがあります。ご兄弟のかばんの中に入っていることがあります。ご注意ください。

* 必ず1回分をお持ちください。(病院受診をした後、直接登園する場合であっても必ず1回分に準備をお願いします。)

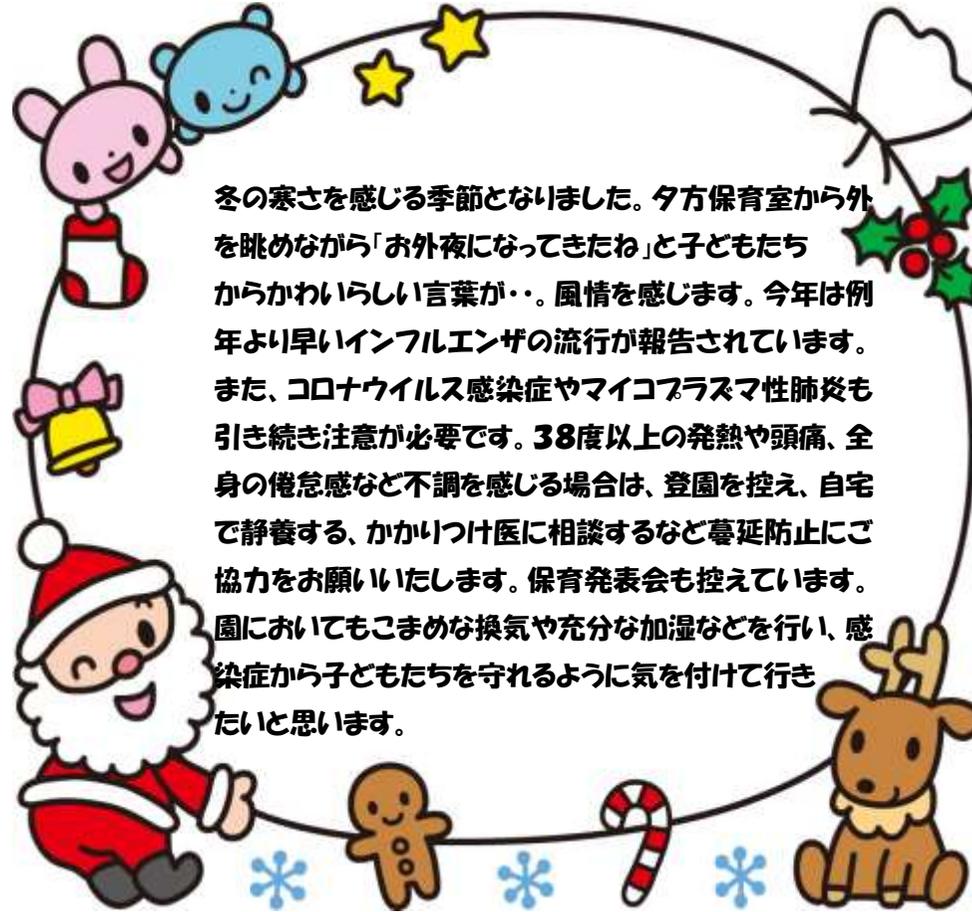
* 薬の連絡票と一緒に薬剤情報提供書またはお薬手帳の提出をお願いします。

* 薬の容器、内服薬には必ずフルネームで名前の記入をお願いします。兄弟での容器の共有は誤薬の原因になりますので絶対におやめください。

* 内服の件で確認事項が出た場合おうちの方へ確認の連絡を入れることがあります。ご協力をお願いします。



令和6年度 社会福祉法人 栗石保育園 保健室



冬の寒さを感じる季節となりました。夕方保育室から外を眺めながら「お外夜になってきたね」と子どもたちからかわいらしい言葉が…。風情を感じます。今年は例年より早いインフルエンザの流行が報告されています。また、コロナウイルス感染症やマイコプラズマ性肺炎も引き続き注意が必要です。38度以上の発熱や頭痛、全身の倦怠感など不調を感じる場合は、登園を控え、自宅で静養する、かかりつけ医に相談するなど蔓延防止にご協力をお願いいたします。保育発表会も控えています。園においてもこまめな換気や十分な加湿などを行い、感染症から子どもたちを守るように気を付けて行きたいと思います。

発熱後の登園に関して

当園では、37.5℃以上の発熱が見られた場合おうちの方へ連絡を入れることになっています。特に熱性けいれんの既往のあるお子さんに関しては状態を早めにお知らせしています。自宅に帰られた後、24時間は熱の状態を観察し、平熱が続いていることを確認してからの登園をお願いします。これは感染症の蔓延を予防するでもあり、クラス閉鎖などの措置を最小限にするためです。ご協力をお願いいたします。

これから気になる熱を伴う病気

* インフルエンザ

突然高熱が出て、ぐったいします。のどの痛みや頭痛、筋肉痛もみられます。ほぼ同時期か少し遅れて咳や鼻水が出てきます。

登園の基準

発症した日を0日として5日間を経過すること。また、解熱した日から3日間を経過するまで出席停止です。

* マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマという細菌によっておこる肺炎で幼児や学童に多くみられます。熱から始まる 경우가多く、発熱後数日してから、乾いた咳が目立つようになります。咳は3~4週間ほど続きます。

登園基準

熱が下がって、咳が落ち着き主治医の許可があれば登園可能です。咳こんで吐いてしまう場合や、十分な睡眠がとれていない場合は自宅での静養をお願いする場合があります。

* コロナウイルス感染症

症状は、頭痛、のどの痛み、食欲不振、味覚障害、倦怠感、胸部不快感、胃腸炎、重度の下痢などの風邪に似た症状が特徴です。

潜伏期間は2~7日間。

登園基準

発症後5日間は感染リスクが高いため登園を停止です。発症直前・直後は特にウイルスの排出量が多く感染力が強いため、一緒に住んでいる家族は注意が必要です。

<注意>

発症してすぐに検査した場合、陰性で出ることがあります。そのため、流行期に典型的な症状が出ていれば検査しないこともあります。受診前にかかりつけ医に受診のタイミングを相談し、主治医の指示に従い適切な療養をしましょう。また、検査の有無に関わらず必ずいつから登園可能か主治医に確認をお願いします。